

Mémoires 2022

第39回 マイルチャンピオンシップ(GI)



4度目のトライで大願成就 セリフォス

豪脚でかなえた「4度目の正直」。歴戦の古馬を下し、3歳の新マイル王が誕生した。

1番人気は前年のNHKマイルCを制した4歳馬シュネルマイスター。2番人気は春にヴィクトリアマイルでマイルGI・3勝目を挙げた4歳牝馬ソダシ。3番人気が朝日杯フューチャリティS勝ちのある5歳馬サリオスと、マイルGIのタイトルを持つ古馬3頭が揃って上位人気に推された一戦。しかし勝ったのは、これがGI初制覇の3歳馬セリフォスだった。

落ち着いた流れで進んだレースは直線、大激戦となった。各馬がひしめきあうなか、ソダシがソウルラッシュとダノンザキッドを引き連れるように伸びて、混戦から抜け出しを図ろうとする。それらを1頭だけ次元の違う末脚でまとめてかわしていったのがセリフォスだった。13番手で直線を向いたときにはまだ先頭とはかなりの差があったが、大外から上がり3ハロン推定33秒0の豪脚を繰り出すと、競り合う各馬を文字通りごぼう抜き。最後は2着馬に1馬身1/4差をつける完勝で、GI初制覇を飾った。

短期免許で騎乗中のダミアン・レーン騎手は3年ぶり4度目のJRA・GI勝ち。「思ったより後ろのポジションになりましたが、直線の途中で手応えがあったので勝てると思いました」と笑顔でパートナーの末脚を称賛した。

ここまで新潟2歳S、デイリー杯2歳S、そして前走の富士Sとマイル重賞を3勝しているセリフォス。しかしGIは朝日杯フューチャリティSとNHKマイルCでいずれも1番人気に比べられず2、4着、安田記念も4着と、あと一歩で勝利に手が届かず。4度目の挑戦で、ついに悔しさを晴らしてみせた。

第39回マイルチャンピオンシップ(GI)

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	セリフォス	牡	3	56	D.レーン	中内田充正	1:32.5	⑥	14 13
2	ダノンザキッド	牡	4	57	北村 友一	安田 隆行	1 1/4	⑧	7 9
3	ソダシ	牝	4	55	吉田 隼人	須貝 尚介	1/2	②	4 4
4	ソウルラッシュ	牡	4	57	松山 弘平	池江 泰寿	ハナ	⑤	9 6
5	シュネルマイスター	牡	4	57	C.ルメール	手塚 貴久	クビ	①	9 9
6	ジャスティンカフェ	牡	4	57	福永 祐一	安田 翔伍	クビ	⑦	15 15
7	エアロノア	牡	5	57	武 豊	笹田 和秀	ハナ	⑩	11 9
8	ロータスランド	牝	5	55	岩田 望来	辻野 泰之	クビ	⑮	4 4
9	ピースオブエイト	牡	3	56	C.デムーロ	奥村 豊	クビ	⑫	1 2
10	マテンロウオリオン	牡	3	56	横山 典弘	昆 貢	1 1/4	⑩	11 12
11	ダノンスコーピオン	牡	3	56	川田 将雅	安田 隆行	クビ	④	6 6
12	ウインカーネリアン	牡	5	57	三浦 皇成	鹿戸 雄一	1/2	⑨	7 6
13	ファルコニア	牡	5	57	池添 謙一	高野 友和	1 1/4	⑬	2 1
14	サリオス	牡	5	57	R.ムーア	堀 宣行	ハナ	③	11 13
15	ホウオウアマゾン	牡	4	57	坂井 瑠星	矢作 芳人	1/2	⑭	3 3
16	ハッピーアワー	牡	6	57	川又 賢治	杉山 佳明	2	⑯	16 15
17	ベストスタンク	牡	10	57	藤岡 佑介	安達 昭夫	1 1/4	⑰	17 17

単勝 ⑩920円 複勝 ⑩330円 ③520円 ⑥220円 枠連(2-5) 1,410円
馬連 ③-⑩11,870円 馬単 ⑩-③19,920円 ワイド ③-⑩2,980円 ⑥-⑩1,170円 ③-⑥2,240円
3連複 ③-⑥-⑩20,530円 3連単 ⑩-③-⑥142,650円

ハロンタイム 12.2-11.2-11.7-11.5-11.9-11.6-10.8-11.6
通過タイム 600^レ35.1-800^レ46.6-1000^レ58.5-1200^レ1:10.1-1400^レ1:20.9



優勝馬:セリフォス

2019.3.7生 牡 栗毛
父:ダイワメジャー
母:シーフロント
母の父:Le Havre
生産:安平・追分ファーム
馬主:(株)GIレーシング